

電波時計について

■電波時計

本製品は日本の標準時刻電波を受信して、自動で時刻を修正します。
※標準時刻電波は独立行政法人・情報通信研究機構(NICT)の標準電波送信所より送信されています。標準時刻電波は、24時間送信されており、保守作業などの為一時的に送信が止まる場合があります。
※一度受信を行ってから次に電波を受信するまでは、内蔵されたクォーツの精度により作動します。常に正しい時刻を表示させるためには毎日の確実な受信を心掛けてください。

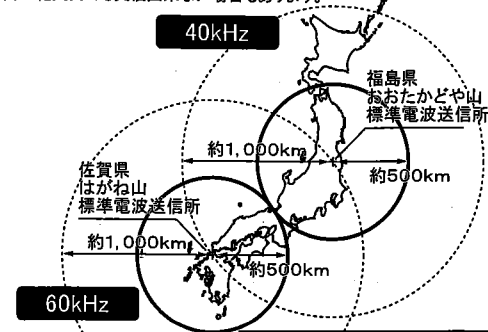
■受信範囲

本製品の受信可能範囲は、標準時刻電波送信所より半径約1,000kmですが、標準時刻電波が届く範囲は、時間帯・季節・気候・地形など様々な条件により変化する場合がありますので、受信可能範囲内であっても受信が出来ない事があります。
※本製品は、福島局(40kHz)または佐賀局(60kHz)の電波を自動で選局して受信する両局対応モデルです。

■受信範囲図

※この図は目安です。

円の範囲内でも受信出来ない場合もあります。



電波の運用状況、日本標準時等の詳細については時空標準研究室日本標準時グループのホームページをご確認ください。
HPアドレス <http://ijiy.nict.go.jp/>

■電波の受信について

- 受信中の時計は動かさないでください。
- 受信が終了するまでに約10分かかります。
- 受信中はボタン操作をしないでください。
- 受信が正常に終了しているのに正しい時刻が表示されない場合は、受信中にノイズ等の影響により正しく設定されていない事が考えられますので、場所を変えて再度受信を行ってください。
- 受信機能を多用すると電池を消耗し、電池寿命が短くなりますのでご注意ください。

■その他ご注意

■ディスプレイ表示の不具合について(時計のリセット方法)

放電などにより、ディスプレイ表示に不具合が生じる事があります。その場合は一度電池を入れ直してください。又は「リセットボタン」を押してください。電波の自動受信を開始します。その後の手順は「ご購入後の時刻合わせ」をご覧ください。

■お手入れについて

乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
時計を長くお使いにならない時は、電池を電池ボックスから外してください。ベンジン・アルコール等の溶剤、ミガキ粉、硬いブラシ等は使わないでください。変色・変形やキズを付ける恐れがあります。

■ウェルドラインについて

本体のプラスチックは溶けた状態で金型に流し込んで成型されます。このとき溶けたプラスチックが金型の中で合流した部分が、線になって残ることがあります。それがウェルドラインと呼ばれるもので、細い線のように見えることがあります。
キズなどの不良品ではありませんので安心してお使いください。

受信時の注意

受信しやすい場所

1. 電波発信塔の方向にある窓際(受信範囲図参照)
近くにビルや高圧線・鉄骨・鉄筋コンクリートの建物がない窓際
2. 家電製品から離れた設置場所
照明器具、パソコン及びモニター・エアコン・冷蔵庫・電子レンジなどから離れた場所

設置場所等で受信が困難な場合の対処方法

- ①設置場所が移動できる場合は移動して様子を見てください。
 - ②設置場所を移動できない場合、屋外で手動受信(強制受信)を試みてください。
自動電波受信が成功したら、設置場所へ戻してください。
- 電波を受信しなくても、窓際や屋外(ベランダ等)で強制受信をしたり、電波受信条件に問題なければ、電波を受信する事が出来ます。電波を受信出来ない場合も時計に内蔵されたクォーツ時計で動きます。

■安定した受信のために

屋間は、家電や携帯電話などから発生するさまざまな雑電波が多い為、受信しやすい窓際や安定した強い電波を受信出来る場所・時計の向きを見つけて、その場所に時計を設置してください。

また、受信中は時計を動かしたり、ボタン操作は行わないでください。受信しない場合は、夜間1度電池を外し、再び電池をセットして朝まで窓際に置いて様子を見てください。

夜間は電波状態が良い為、受信の成功率が高くなります。

■受信が難しい場所

- 車・電車・飛行機など乗り物の中
 - 山間部で電波が山等に遮られる場合 ※高圧線・変電施設等が近くにある。
 - ビルによる電波の遮断 ※工場等の高出力電力等が発生する施設が近くにある。
 - 鉄筋コンクリート素材のマンションで中央部のお部屋
 - 電化製品に近い場所での設置(照明器具・パソコン及びモニター・エアコン・冷蔵庫など)
 - 使用中の携帯電話の近く
 - 極度の高温または低温の状況下
 - 設置場所から送信所方向に電波の妨げになる障害物がある場合
 - 悪天候時(雪・台風・雷など)
 - ケース・引き出しなどの中。
- 上記以外の条件も考えられますので、受信が難しいと感じましたら「安定した受信のために」を参照してください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

ご使用になられる方や他の方への危害及び財産の損害を未然に防ぐため、下の表示で区分されている内容につきましては、一読してご確認の上必ずお守りください。

警告
WARNING
この表示の欄は、表示内容となつた使用の方をした時に「死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。」

注意
CAUTION
この表示の欄は、表示内容となつた使用の方をした時に「人的傷害または物的傷害のみが発生する可能性が想定される内容です。」

本製品は以下のような場所でのご使用や保管を避けてください。

- リセットボタンのご使用は「1回につき1秒程度」としてください。
長押しした場合、IC等に不具合を生じる恐れがあります。
- 長時間にわたり温度が+50℃以上になる所、直射日光の当たる所や屋外、暖房器具の熱風が当たる所、火気の近い所などや、温度が-10℃以下になる所(冬の戸外など) プラスチック部品の劣化・変形や電池の消耗・劣化に影響があります。
- はげしい振動のある所、不安定な所。
落下や転倒により、けがや器物を破壊する恐れがあります。
本製品は表面の素材にガラスを使用している為、お子様の手が届く所でのご使用や不安定な場所でのご使用は大変危険ですので避けてください。
- ちりやほこりの多い所や台所など多くの油を使用する所。
空気中に舞い上がったゴミが霧状になった油分と付着し、時計が故障する事があります。
- テレビ、スピーカーなどの近くや強い磁気のある所。
磁気の影響で進み遅れが生じたり、時計が止まったりする事があります。
磁気をおびた製品(キャッシュカード・時計など)の近く。
極度の静電気により、誤った表示をしたり電子部品が破壊する場合があります。
- 浴室など湿気の多い所。また、水のかかる所や加湿器の近くなど。
本製品を分解しますと、精度や機能が低下しますので、絶対に分解しないでください。
本製品は業務用ではありません。

機能

- 電波受信による時刻修正・カレンダー修正(手動受信も可能)
受信成功から次の受信成功までは内蔵クォーツで作動
- 電波が受信できない場合の手動時刻/時刻は内蔵クォーツ精度で作動
- デュアルアラーム:2つのアラーム設定可能(アラーム音は4段階に変化)止めてもまた鳴るスヌーズ機能
約2分で止まるオートストップ機能付
- 時刻(時・分・秒)12時間表示(午前・午後)
- カレンダー(2010~2099年まで)
- 温度計(自動計測) 実用測定範囲 -9.9℃~+50℃
-9.9度以下は「LL.L」50度以上は「HH.H」と表示
表示は0.1℃単位
- 湿度計(自動計測) 実用測定範囲20%~99%
20%から90%まで計測可能(計測誤差±7%)
20%以下は「LL.L」、99%以上は「HH.H」と表示されます。
湿度計と温度計は目安としてお使いください。
- オートライトセンサー(自動点灯)
- バックライト

仕様

受信電波	受信電波:日本標準電波JJY 日本国外では電波時計としては使用できません。 海外で使用する場合は通常の時計としてお使いください。
自動受信	受信周波数:40/60kHz(自動選局) 1日最大受信回数4回
内蔵クォーツ精度	平均月差±30秒(気温25℃で使用した場合)
作動温度範囲	0℃~+50℃
使用電池	単3電池×2本(アルカリ電池推奨) ※充電池・デジカメ用ハイパワー電池には対応していません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないでください。
電池寿命	約1年(アルカリ電池使用の場合)使用状況により異なります。 ※付属で入っている単3電池はモニター用になります。 記載の電池寿命より早く切れる場合がございます。
製造国	中国
セット内容	本体、モニター用単3電池×2、取り扱い説明書

ご使用上のご注意(電池について)

下記の事を必ずお守りください。電池の使い方を間違えると液漏れや破損の恐れがあり、機械の故障やケガなどの原因になります。また、小さなお子様が誤飲する恐れがございますので、はずした電池は手の届かない場所へ置いて頂くようお願い致します。

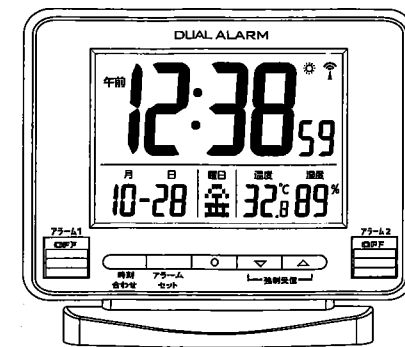
- [1] 十を確かめて正しく入れてください。
- [2] 古い電池と新しい電池、色々な種類の電池を混ぜたり、充電式電池を使用しないでください。
- [3] 電池に直接ハンダ付けしたり水滴を付けたらしないでください。
- [4] 直射日光、高温・多湿の場所を避けて保管してください。
- [5] 使用済み電池は速やかに処分、または幼児の手の届かない所に保管してください。
- [6] 万一、飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。
- [7] 万一、電池から漏れた液が目に入った場合は、すぐに大量の水で洗い流し、ただちに医師にご相談ください。
- [8] 無理な充電や分解、ショートなどの恐れがある事は絶対にしないでください。
また、加熱したり火の中に入れてください。
- [9] 電池は自然放電によっても少しずつ消耗していきます。
- [10] 製品仕様に表示した電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていても指定の新しい電池と交換することをお勧め致します。また、時計を長く使わない時に電池を入れたままにしておくと、古い電池からの液漏れなどにより機械が故障したり、周囲の物を汚したり傷めたりする恐れがあります。
- [11] 長く使わない時は電池を取り出してください。
付属のモニター電池は工場出荷時より入っています。この電池は製品仕様に表示した寿命よりも早く切れる事があります。この電池は保証対象外となりますので、その場合は新しい電池をお求めください。
- [12] 時計が遅れたりするなど、正常に作動しない時は電池切れの可能性がございますので新しい電池へ交換してください。

デュアルアラーム電波目覚まし時計

取り扱い説明書

製品型番:THM018

取説番号 G-TCH25



■販売元 株式会社ザ・クロックハウス
■製造元 株式会社クレファア

故障かな?と思った時に

電池を一旦電池ボックスから取り出し、2分~3分経ってから再度入れ直し、窓際など電波受信しやすい場所に置いてください。
上記の方法を試しても正常に作動しない時は、以下の事をお確かめください。

- 時刻があわない
⇒電波受信が出来なかった可能性があります。時計の置く場所を窓際などに換えてください。
電波の受信中に時計を移動しないでください。
電波が安定して受信されず時刻修正が受信出来ないおそれがあります。
⇒ご使用中の電池容量が少なくなっていると思われる場合、新しい電池と交換してください。
- 初回電波受信後から数日後、数秒のズレの場合
⇒夜中の自動受信時、電波が受信出来なかった可能性があります。次回受信時に成功する場合もありますので、数日様子を見てください。
時刻のズレが修正出来ない場合、設置場所での電波受信が困難な場合がございます。考えられます。その場合は下記のいずれかをお試しください。
①置き場所を変えて様子を見る。
②時々、屋外や窓際で手動で受信(強制受信)を行う。
- 電波を受信しない
⇒標準時刻電波は保守作業などの為、一時的に送信が止まる場合があります。電波が受信できない場合があります。
詳しくは「電波時計について」をご覧ください。
⇒受信が難しい場所で受信している可能性があります。位置を変えて受信しやすい場所で手動で受信(強制受信)させてください。
裏面の「手動で受信させる(強制受信)」をご覧ください。
- ボタンを押しても操作ができない
⇒電波受信中の場合があります。受信が終了するまでしばらくお待ちください。
- 時計表示がおかしい、電池を入れても受信モードにならない。
⇒電池の十(プラス・マイナス)の向きは正しい向きでセットされていますか? また、電池の端子が汚れていますと接触不良になります。
端子の表面を拭いて電池を入れ直してください。
⇒液晶の表示がおかしい、止まった状態の時は、背面の「RESET」と書かれた穴に細い固い棒状の物でボタンを押してください。内部の表示をリセットし、正常な作動へ復帰します。
⇒ご使用中の電池容量が少なくなっていると思われる場合、新しい電池と交換してください。

